

# みどりの将来像

- I みどりの将来像図と構成要素
- Ⅱ 各地区のみどりの将来像図(例)

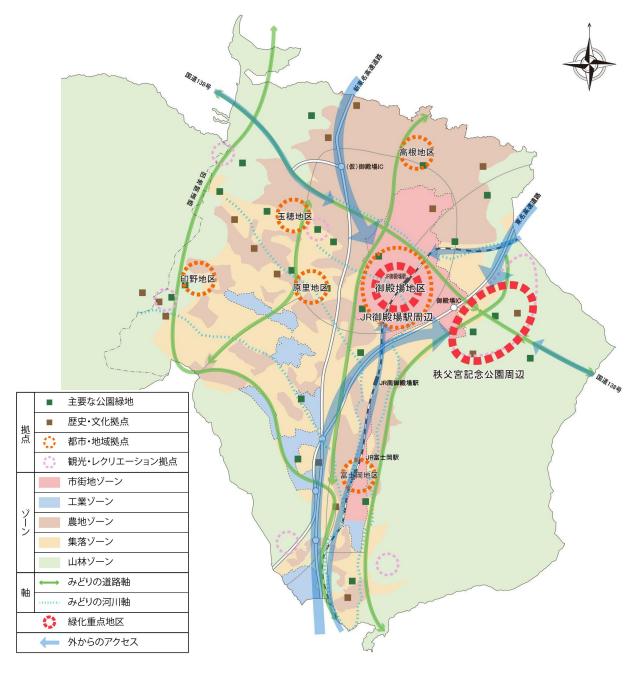
## I みどりの将来像図と構成要素

本市を代表し市民や観光客等に愛されるみどりや、みどり豊かなまちづくりを特に進めていく箇所を「拠点」として、都市の骨格を形成する河川や街路樹等を「軸」として位置づけます。 また将来に渡り、守り、受け継ぐ農地や山々のみどり、市街地を「ゾーン」に位置づけます。 さらに、みどりのまちづくりを重点的に図る地区を「緑化重点地区」として位置づけます。

こうした「拠点」·「軸」·「ゾーン」と「緑化重点地区」によって、「みどりの将来像図」を形成します。

※ 「拠点」・「軸」・「ゾーン」の方針・方策は第5章、「緑化重点地区」の方針・方策は第6章に記載。

#### ■ みどりの将来像図



## ■ みどりの構成要素

## 1. 拠点

みどりの拠点	
公園・緑地	・公園・緑地は、誘致範囲や利用者分布、都市形態等に配慮し適切に配置するとともに、市民等と協働で維持管理や活用促進に努める。
歴史・文化拠点	・駒門風穴、深沢城跡、二岡神社等のみどりを歴史・文化拠点に位置づけ、歴 史資源の保全や、歴史文化を後世に伝えるための活用方法を検討する。
都市・地域拠点	<ul> <li>・公共施設は、地域の人々が集まり親しむ場としてみどりの保全や緑化を推進する。</li> <li>・JR御殿場駅周辺を都市拠点に位置づけ、人々が快適・便利に暮らすことができる魅力的な拠点の形成を図る。</li> <li>・JR御殿場駅周辺以外の地区を地域拠点に位置づけ、周辺の自然環境と共生した生活がある拠点の形成を図る。</li> </ul>
観光・レクリエ	・市内に立地する観光施設やスポーツ施設等を観光・レクリエーション拠点に
ーション拠点	位置づけ、多くの人が集い・にぎわう拠点を形成する。

# 2. ゾーン

市街化区域	・JR御殿場駅及びJR富士岡駅を中心とした2地区を市街地ゾーンに、市内 に点在する5地区を工業ゾーンとし、以下の方針で緑化を推進する。
市街地ゾーン	・積極的に既存緑地を保全するとともに、公共施設や工場等の跡地を活用した
	住区基幹公園を整備し、みどり豊かな市街地を形成する。
	・当ゾーンは集落地に近接しており、集落地からの景観に大きな影響を与える
工業ゾーン	ため、工業地景観の改善、敷地内の緑化や緩衝緑地の配置の推進を図るとと
	もに、周辺の既存集落との調和の取れたみどりの整備を行う。
	・市街地周辺部に広がる農村集落と農地からなるゾーンであり、山麓から連続
田園ゾーン	する樹林地や自然環境を残す水辺空間が形成されている。
	・農地、樹林地の保全及び集落環境の改善を図り、既存の緑化を推進する。
# 11	・市の北部や中央部にある農地を位置づけ、生産のためだけでなく、自然環境
農地ゾーン	に触れ合うことのできる場の形成や生態系の維持等のために保全に努める。
44 44 3	・旧町村を中心とし、地域特性を踏まえた集落整備に努めるとともに、特色あ
集落ゾーン	るみどりの保全に努める。
.1. 44 \\$	・都市を取り囲み、市街地の背景となることにより、みどり豊かな都市環境を
山 林 ゾ ー ン	形成する緑地であるため、自然環境の保全や活用に努める。
	・富士山は広大な山麓を形成し、市街地からの遠景として雄大な都市環境を形
富士山	成する緑地として保全するとともに、自然を満喫し散策できるみどりとして
	活用を検討する。
	・箱根山は市街地に近接した変化に富んだ斜面緑地を有しており、個性的な景
箱 根 山	観を持つ骨格的な緑地として保全するとともに、自然を満喫し散策できるみ
	どりとして活用を検討する。

## 3. 軸

み	را ک	の	軸	
			・河川敷の緑化により、みどりの河川軸として都市の骨格を形成する。	
	みどりの河川軸		川軸	・市街地内を流れる中小河川により、市街地内のみどりのネットワークを形成
		する。		
みどりの道路軸	路 軸	・道路沿いの緑化により、生活のうるおいだけでなく、良好な景観、交流、観		
	-н тш	光に資するみどりのネットワークとして都市の骨格を形成する。		

## 4. 緑化重点地区

	・JR御殿場駅周辺と秩父宮記念公園周辺を、みどりのまちづくりを重点的に
	推進すべき場所として、緑化重点地区に位置づける。
緑化重点地区	・緑化重点地区では協働による緑化及び緑地の利活用に取り組み、その動きを
	周辺市街地にも波及させることで、市街地全体での緑化の取り組みを促進し
	ていく。

## Ⅱ 各地区のみどりの将来像図 (例)

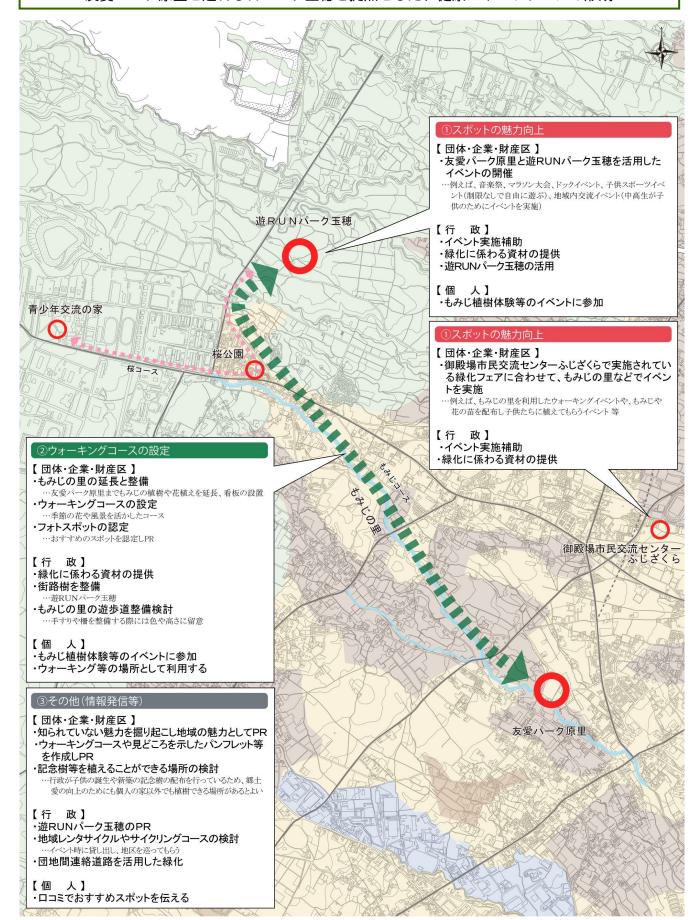
みどりの活用を進めるためには行政や事業者だけでなく、現に活動を行っている市民や市民 団体等の力が重要となります。

このため、緑の基本計画策定懇話会で市民団体等の代表からいただいた意見を基に、緑化重点地区以外のエリアにおいても「みどりの活用」を着実に推進させていくため、市民や市民団体等がこれからみどりに係わる活動を進める際の各地区のみどりの将来像図(例)※としてとりまとめました。

※ 各地区のみどりの将来像図(例)は、緑の基本計画策定懇話会や市民等を対象としたアンケートでいただいた 意見を基に作成しました。このため、事業の実現を担保するものではありません。

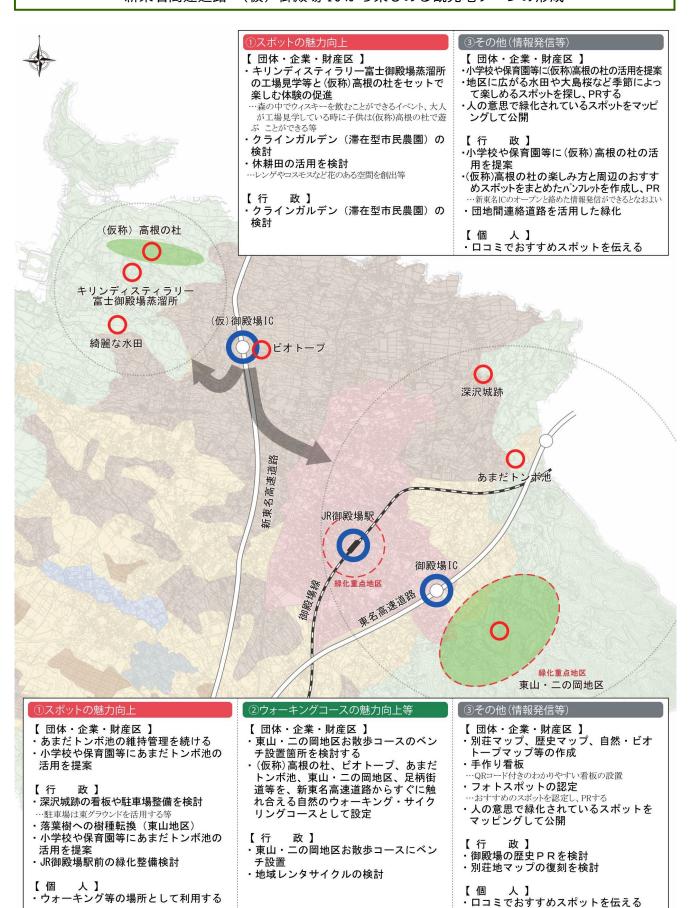
#### 1. 原里地区・玉穂地区 将来像図 (例)

#### 友愛パーク原里と遊RUNパーク玉穂を拠点とした、健康スポーツゾーンの形成



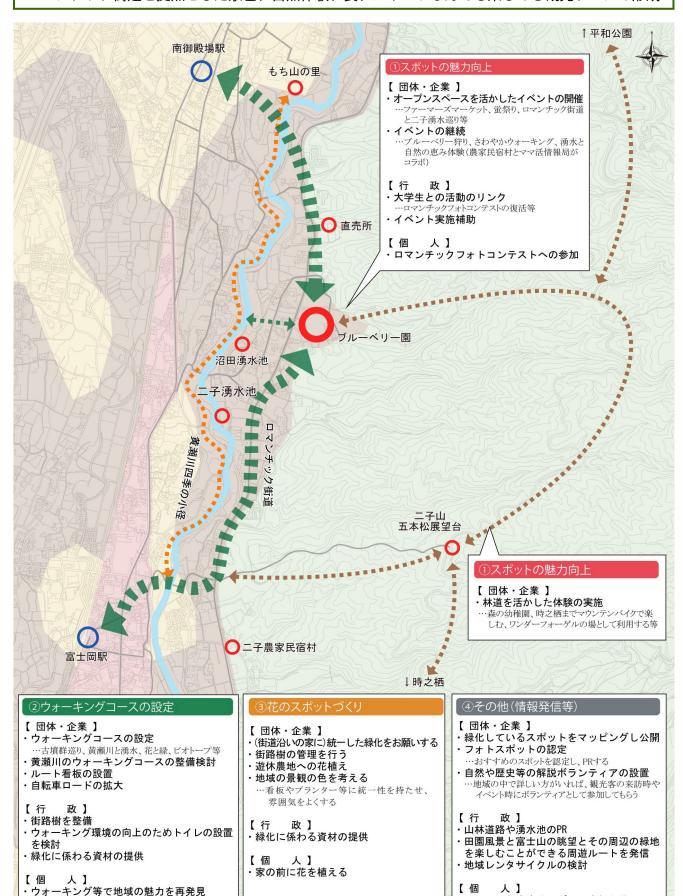
## 2. 高根地区・御殿場地区 将来像図 (例)

## 新東名高速道路・(仮) 御殿場 IC から楽しめる観光地ゾーンの形成



#### 3. 富士岡地区 将来像図 (例)

ロマンチック街道を拠点とした景色、自然体験、食、スポーツなんでも楽しめる観光ゾーンの形成



ロコミでおすすめスポットを伝える

## 4. 印野地区 将来像図 (例)

#### みどり豊かな地区で遊びも食も年間を通じて体験できる観光ゾーンの形成

